

令和2年12月11日

福岡医療専門学校
校長 藤瀬 武 殿

学校関係者評価委員会
委員長 下迫 勇夫

学校関係者評価委員会報告

令和2年度学校関係者評価について、下記のとおり評価結果を報告します。

記

- 1 学校関係者評価委員会 委員 (五十音順 敬称略)

東 りか	はり灸・整骨院 Re.庵 代表
上野 啓介	うえの整骨院 院長 6期卒業生
北原 孝子	朝日ホーム有限会社 顧問
木下 健一郎	有限会社ひかり (通所介護ライズ) 代表取締役
行徳 倫子	医療法人正明会 諸岡整形外科病院・クリニック 看護部 管理者
下迫 勇夫	福岡医療専門学校 非常勤講師
山中 知愛	医療法人 西福岡病院 放射線科 科長
- 2 学校関係者評価委員会の審議スケジュール
 - (1) 自己点検・自己評価報告書の書面審議 (令和2年4月)
 - (2) 令和2年11月21日 (土) 学校関係者評価委員会開催
- 3 学校関係者評価委員会報告
別紙のとおり

以上

I 重点目標について

1 重点目標 「教育活動・学修成果」について

- 国家試験に全員合格することを目標設定しているのに対し、理学療法科、柔道整復科、鍼灸科では目標達成ができたが、診療放射線科、看護科で不合格者がおり、目標を達成することができなかった。この結果を踏まえて、教育活動の見直しを行い、目標達成に向けた教育指導を期待する。
- 学生支援室を設置し、学生生活全般に対する支援体制が整備されている。

2 重点目標 「職業実践課程」について

- 学校関係者評価委員会、教育課程編成委員会等の意見を反映した教育課程において、実践的な教育活動への取り組みが理解できる。
- 各学科の垣根を越えたセミナーの開催は、専門的分野以外の知識の習得ができる。職業実践専門課程を通じた教育の質の保証・向上にも繋がるため、継続を望む。
- 職業実践専門課程教育を実践するため、教員の指導力の向上を目的とするFD研修会が年2回開催されている。教育に関する指導方法等を発表、議論することや各教員が学会への参加を推奨することは継続して推進してほしい。

3 重点目標 「大学設置に向けた取組み」について

- 医療系専門職を養成する大学設置に向けた取組みについては、目標達成に向け期待している。

II 各評価項目について

1 教育理念・目的・人材育成像

評価・意見	4段階
<p>○ 知識・技術・人間性を兼ね備えた医療人を育成する目標設定は明確である。特に、人間性においては人格教育（道徳）が重要である。周囲への配慮、職場環境において空気を読める人、協調性をもった医療人の育成を期待する。</p> <p>○ 挨拶は、コミュニケーション上、重要なツールである。基本的なことができる人材育成の継続を望む。</p>	評価平均 3.9

2 学校運営

<p>○ 職業実践専門課程の主旨である、実践的な教育活動に対する積極的な取り組みを進めていることが理解できる。引き続き、次のステップアップである大学の設置に向けて学校全体での取り組みを期待する。</p> <p>○ 情報システムの整備を図り、業務の効率化への改善への取り組みができている。情報の漏えい等が生じないようにセキュリティーの強化への取り組みを望む。</p>	3.7
--	-----

3 教育活動

<p>○ 現場からの要請との間にかい離することなく、即戦力としての人材育成が求められている。臨床実習施設と連携を図りながら、充実した臨床実習が行えることを望む。</p> <p>○ 教育に関するFD研修会や外部の研修、最新の医療情報収集のために学会への参加を推奨していることは今後も必要である。教員一人ひとりの教育に関する指導力向上を常に図っていくように努めてもらいたい。</p> <p>○ 専門的知識技術を習得させる教育に限らず、道徳教育を導入し、医療人としてすばらしい人間性の向上を期待する。また、人格の完成期の人材育成にあたる使命感が指導者側にも必要である。</p>	3.9
---	-----

4 学修成果

<ul style="list-style-type: none">○ 国家試験合格率は柔道整復師 100%、はり師・きゅう師 100%、理学療法士 100%、診療放射線技師 92.5%、看護師 97.4%であった。診療放射線科、看護科においてわずかに点数が足らず、目標達成には至らなかった。この結果を踏まえ、来年度に向けて学習計画を見直し、目標を達成して欲しい。○ 求人倍率の高い数値を維持している。就職を希望する学生は、全員が就職できる状況にある。また、学生支援室を中心に、学生の性格や将来を見据えた就職活動の支援を今後も期待する。	3.7
---	-----

5 学生支援

<ul style="list-style-type: none">○ 医療技術者に求められる能力は高度化している。それに対応する教育環境の整備、学生支援体制は充実している。教職員においても専門知識の向上が求められるため、FD研修、外部研修への積極的な参加を望む。○ 複数担任制を導入し、学生への支援体制が確立している。また、問題等が生じた場合、即時に保護者と連携をはかり、問題解決への糸口を見出せている。今後も多様な学生に対応した指導を期待したい。	3.6
--	-----

6 教育環境

<ul style="list-style-type: none">○ PCルーム、図書館等を中心に、学習環境がしっかりと整備がされている。○ 臨床実習、インターンシップを通じて、地域医療との連携し、双方のニーズのマッチングを期待する。	3.6
---	-----

7 学生の募集と受入れ

<ul style="list-style-type: none">○ 学納金等は、学校案内、学校ホームページ等に明確に表示されており、分かりやすい。今後も個別相談等の機会を設け丁寧な対応を望む。○ 学生募集、入学選考については適切、効率的な活動である。今後も出前講義の継続を望む。	3.8
--	-----

8 財 務

特になし	3.9
------	-----

9 法令等の遵守

<ul style="list-style-type: none">○ 各設置基準、指定規則、指導要領等の法令や基準等に基づき学校運営が行えている。○ 個人情報の保護は重要なことである。コンプライアンスの遵守に今後も努めてもらいたい。	3.9
--	-----

10 社会貢献・地域貢献

<ul style="list-style-type: none">○ 地域医療の人材を育成する上で、社会貢献、地域貢献、ボランティア活動等への積極的な取り組みは評価できる。特にボランティア活動については、学生が目的意識を持って取り組みができるように多くの情報提供をすることを望む。	3.6
---	-----

まとめ

各評価項目の評価は、平均3.8（4段階評価）であり、概ね高水準が維持されている。教育理念、学校運営、教育活動等の様々な点から、学生に対して教育活動を真摯に取り組んでいることが理解できる。

知識・技術・人間性を兼ね備えた人材を育成する上で、「道德教育」が重要である。今後も職業実践専門課程や新たな医療系専門職を養成する大学設置に向けた取組みに期待する。